

## 野毛山動物園のクラウドファンディングから見る現状と課題

津村悠介

(横浜市立野毛山動物園)

野毛山動物園では2021年4月から6月下旬まで開園70周年を記念したクラウドファンディングを実施した。目標金額を100万円に設定し、レッサーパンダの展示場の改修を目的とした。結果として約2300人の支援者と約570万円の金額が集まった。今回のクラウドファンディングの結果を踏まえ、本発表では他園館と比較して課題を明確化し、今後クラウドファンディングを行う際により良い企画にできるようにすること、野毛山動物園には目標金額を100万円以上に設定できるポテンシャルがあることの証明を目的とした。他園館と比較することで返礼品の種類の少なさが課題として見られた。また、他園では寄付金の20%、支援者の50%を占めた実績のある返礼品のない「応援」のみの選択肢がなかったことや、目標の設定を多段階的に用意することができれば、多くの支援金目標金額を設定できると考えた。